

- 1 文章の組み立てをくふうし、中心のはっきりした文章を書きましょう。
- 2 段落の初めは、必ず一字下げて書き始め、段落ごとに行を変えましょう。

()月()日()曜日

屋久島のたぎ四選

一 湊小学校三年 若松 朝陽

ぼくは、屋久島にあるたぎがすぎで、よく見に行きます。その中でも、お気に入りのたぎを四カ所しようかいたします。

大川のたぎは、高さ八十八メートルで、近くまで行って見る事ができます。水しぶきがすごくて、近くに行くとき、ワイワイのように水をあがる事ができます。たぎが、右がわと左がわに流れていて、雨の日が少ないと、右がわの方は、あまり水が流れません。

千比ろのたぎは、高さ六十メートルで、左がわの一まい岩がはくわがあります。すと、遠くからしか見ることができなかつたけど、つりばしができて、近くまで行って見る事ができるようになりました。たぎをよく見ると、たぎの上に小さいたぎがあつて、さらに上にも小さいたぎがあります。

リウ神のたぎは、高さ三十メートルで、千比ろのたぎとトローキのたぎの中間地点に

No.

- 3 詩はどの行も三ばんめのマスから書き頭をそろえましょう。
- 4 書き終ったら、何回も読み直して、まちがいを直したり、書き足りないところを書き足し、むだなところはけずりましょう。

(不許複製)



- 1 文章の組み立てをくふうし、中心のはっきりした文章を書きましょう。
- 2 段落の初めは、必ず一字下げて書き始め、段落ごとに行を変えましょう。

() 月 日 曜日

あ、て、千のろ橋から見る事ができます。
 はくわがあ、て、水の音もはげしいです。
 トロッキーのたきは、高さ六十メートルで、
 日本で二つしかないという、海に落めずらし
 いたぎです。また、しおのみち引きによって、
 高さがかかります。トロッキーのたきを見に行
 く、後ろに、モツチヨムだけかか、二よく
 そいえ立っています。
 また、一湊にある「ぬの引のたき」や、お
 の間と小島にある「じゃの口のたき」など、
 ほかにもたくさんたきが屋久島にはありま
 す。
 一番のおすすめのたきは、近くまで行けて、
 水の激しい音を近くで聞く事ができる「大
 川のたき」です。ぼくは大川のたきを見に行
 ったときは、左がわのたきの正面に行、て、
 水しぶきをたくさんあかます。たきからはな
 れた場所でも、大きな岩の所できりのような
 水をあかすることかできます。水がたくさんあ
 けると、すすしくな、てとても気もちがいい

No.

- 3 詩ほどの行も三ばんめのマスから書き頭をそろえましょう。
- 4 書き終ったら、何回も読み直して、まちがいを直したり、書き足りないところを書き足し、むだなところはけずりましょう。

(不許複製)



- 1 文章の組み立てをくふうし、中心のはっきりした文章を書きましょう。
2 段落の初めは、必ず一字下げて書き始め、段落ごとに行を変えましょう。

() 月 日 曜日

です。

屋久島は「日本一雨の多い島」と言われるほど、雨が多く、島の中央には九州最高峰の宮の原だけなどの、高い山が多いので、山にぶつた雨が多くの川となり、流れ落ち、たきを作っているのではないかと思います。

また、行ってないたきも、まだまだあるのが、屋久島のたき、コンアリートを目指します。

No.

- 3 詩はどの行も三ばんめのマスから書き頭をそろえましょう。
4 書き終ったら、何回も読み直して、まちがいを直したり、書き足りないところを書き足し、むだなところはけずりましょう。

(不許複製)

